

12月16日
東京都知事選

宇都宮けんじさんごときにも

都知事予定候補 弁護士、前・日弁連会長

人にやさしい東京を



©「しんぶん赤旗」

■1946年、愛媛県生まれ。中学・高校時代は熊本県で過ごす。65年、東京大学に入学。中学・高校・大学と卓球部に所属。71年、弁護士登録(東京弁護士会)。■日本弁護士連合会会長(2010~11年度)、全国ヤミ金融対策会議代表幹事、オウム真理教犯罪被害者支援機構理事長などを歴任。■『消費者金融—実態と救済』(岩波新書)、『13歳から学ぶ日本の貧困』(青志社)、『大丈夫、人生はやり直せる—サラ金・ヤミ金・貧困との闘い』(新日本出版社)など著書多数。■テレビ出演は「プロフェッショナル 仕事の流儀」「福祉ネットワーク」(NHK)など。■愛読書は、藤沢周平。

痛みがわかる
苦勞の人

宇都宮けんじさんは、愛媛県の小さな漁村に生まれ、開拓農家として一家で大分県に移り住み、貧しくても懸命に働く父親の姿を見て育ちました。東京大学在学中、被差別部落の本や炭坑の子どもたちの生活記録を読み、社会のために働こうと弁護士に。



イラスト: MAKO

脅しにも
屈せず

下積みの弁護士生活のなかで、サラ金・ヤミ金の苛酷な取り立てに苦しむ人々に出会いました。サラ金被害者に弁護士費用の分割払いを初めて行う。国会に働きかけ、グレーゾーン金利を撤廃させる画期的な貸金業法改正を実現。豊田商事事件、地下鉄サリン事件などで数々の難問を解決してきました。映画『夜逃げ屋本舗』を監修。宮部みゆきの小説『火車』の弁護士モデルです。

「反貧困」
「脱原発」の
リーダー

貧困と格差が深刻化するなか、「反貧困ネットワーク」代表や、「年越し派遣村」名誉村長として、新しい社会運動を次々と組織し、リーダーシップを発揮。

日弁連会長として、東日本大震災と原発事故被災者支援の先頭に立ち、福島の子どもたちを守るため、放射線量基準の見直しを求めました。

「原発ゼロ」を求める官邸前行動の見回り弁護団など、現在も運動の先頭に。

幅広い都民、著名人、団体の期待にこたえて



©「しんぶん赤旗」

池田香代子(翻訳家)、上原公子(元国立市長)、内橋克人(経済評論家)、大江健三郎(作家)、荻原博子(ジャーナリスト)、鎌田慧(ルポライター)、品川正治(経済同友会終身幹事)ら40氏が、11月6日、「人間らしく生きられる、平和と人権の東京を」と声明を発表(写真は記者会見の様)。こうした期待にこたえて、宇都宮けんじさんが幅広い市民のみなさんが結成した「人にやさしい東京をつくる会」から出馬を決意しました。

政党では11月20日現在、日本共産党、社会民主党などが支持を決定。さらに広げようとする努力がすすめられています。

都民がつくる革新都政

2012年11月号外(昭和58年2月25日第三種郵便物認可)
発行/革新都政をつくる会(発行人/中山 伸)
〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館5F

「革新都政をつくる会」とは、都民が主人公の都政をめざす団体と地域で構成する会です。

「革新都政をつくる会」は、都知事予定候補として宇都宮けんじさんの支持を決定しました。

東京チェンジ!



©「しんぶん赤旗」



イラスト: MAKO

革新都政をつくる会は「人にやさしい東京」をめざす、宇都宮けんじさんの**4つの柱**を支持し、都政転換を訴えます。

誰もが人らしく生きるまちに

若者も、お年寄りも、女性も男性も、障がいがある人もない人も、みんなが参加できるまち、東京をめざします。

- 貧困の解消をめざし、雇用の拡大、失業時の所得保障の充実、住宅や雇用・就職など若者支援の強化、女性の地位向上、最低賃金の引き上げを進めます。
- 長引く不況で苦しむ中小零細企業・自営業者・商店の支援、商工業振興策を抜本的に強化します。
- 不要不急の大規模開発を見直し、福祉・医療・子育てを充実させます。
- 消費税増税に反対します。

脱原発を東京から

東京都は福島原発からの電気の最大消費地でした。原発事故の被害者を支え、脱原発の先頭に立つことは東京都と都民の責務です。

- 福島をはじめ、被災地への支援のために、自治体としてあらゆる支援を行います。
- 脱原発を明確にし、脱原発のために、東京都ができるあらゆる取り組みを都民の参加で実施していきます。
- 再生可能エネルギーの普及に全力でとりくみます。
- 東京は直下型地震などの危険が迫っています。大都市スーパー災害に備えて、予防原則第一で防災対策をすすめます。

子どもたちのための教育の再建

東京の教育に民主主義を取り戻し、教師に自信と自立性を、教室に学ぶ喜びと意欲を回復する、子どもたちのための教育を再建します。

- 上からの教育統制ではなく、自由に生き生きとした教育をつくり、子どもたちにあたたかい教育行政に転換します。
- 学校選択制などで競争をあおるのではなく、小中全学年で30人学級をめざすことや、高校無償化の拡大など、教育のインフラ整備を着実にすすめます。
- いじめ問題の解決に取り組みます。

憲法がいきる東京に

日本国憲法は戦後日本の平和の基盤となった宝です。

- 日本国憲法を尊重し、平和と人権、自治、民主主義、男女の平等、福祉・環境を大切にす都政をすすめ、ゆがめられた都政を転換します。
- 沖縄の人々とともに、自治を守る立場から、普天間基地の辺野古移転、欠陥機オスプレイの配備に反対します。
- 米軍基地のない東京、日本をめざします。
- 前知事が停滞させた、アジアをはじめとする都市との交流をすぐに再開し、アジアと世界の人々が交流し集う東京をつくります。

東京の難問を都民みんなの 声に耳を傾けて解決。

石原前都知事が投げ出した、オリンピック招致、築地市場の豊洲移転、新銀行東京、尖閣諸島の寄付金処理などの問題は、パブリックコメントや、タウンミーティングなどを積極的に開催し、住民参加のもと、実質的な議論を丁寧に進めて、着実に解決していきます。

石原都政をうけつぐ人は もうごめんです。

「何がぜいたくかといえばまず福祉」という石原都政のもと、福祉は切り縮められ、都立病院は廃止統合され、保育所や特養ホームの待機児(者)が増える一方、大規模開発が優先されました。「破壊的教育改革」、「日の丸」「君が代」の強制によって、学校に分断が持ち込まれ、子どもたちは競争に追い立てられました。都民のくらしと憲法をないがしろにする都政を石原前知事といっしょにすすめて「後継指名」を受けた人には、東京の未来を託せません。

あなたの願いを託してください。

革新都政をつくる会は、都政の転換と課題解決にむけ、「2012年都知事選挙・私たちの提案」を発表し、パンフレットで普及しています。ご意見をお寄せください。

「革新都政をつくる会」の政策もご覧下さい。

■パンフレット(電子ブック形式)
<http://i.wook.jp/000222/222272/>

■WEBサイト
<http://kakushintosei.org/>

